

議会だより 産山

■第2回臨時会の概要・・・P2

■第1回（3月）定例会・・・P3

■一般質問・・・・・・・・・・P4～6

第5号 令和元年6月発行

選挙後初の議会開会

産山村議会の新体制が決定

令和元年5月臨時議会が村長の招集により、5月7日に開会されました。
本臨時議会は4月27日の村議会議員一般選挙後、初の議会となるため、年長議員が臨時議長を務め、議長に西澤正議員、副議長に白石巖議員を決定し、新しい議会構成の元、新たな産山村議会がスタートしました。



第24代議長
西澤 正

このたび、議員各位の推薦により、第24代議長に就任致しました。
新元号である令和、初代議長と言う大役をおおせつかり重責に身の引きしまる思いでございます。

村財政においては、限られた財源で、より効果が発揮できるかが問われる時代であります。現在、村が抱える少子高齢化、人口減少、農業振興と重要な課題が山積しておりますので議員一丸となって村づくり邁進してまいりたいと思っておりますので皆様の尚一層のご支援をお願いし就任の挨拶とさせていただきます。



第24代副議長
白石 巖

このたび、議員各位の推薦により、第24代副議長に就任致しました。

今後は、議長の補佐役として、村政の進展と議会の円滑な運営のために、最善の努力を尽くしてまいりたいと考えております。

産山村議会の総合力が発揮できるよう全力で頑張りますので皆様方の格別なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

産山村議会構成委員

- **常任委員会** 議員はいずれかの常任委員会に所属し、本議会から付託された議案等を審査します。

総務部文教厚生常任委員会 総務、教育、税務、防災、教育、健康、福祉など

【委員長】 渡辺 裕文 【副委員長】 井 春夫
 【委員】 白石 巖 ・ 城本 俊成

経済建設常任委員会 農政、観光、道路、水道、建設など

【委員長】 西村 直樹 【副委員長】 岩下 徳行
 【委員】 西澤 正 ・ 井 芳美

議会広報特別委員会 議会だよりの発行など

【委員長】 岩下 徳行 【副委員長】 井 春夫
 【委員】 城本 俊成 ・ 井 芳美

- **議会運営委員会** 議会の運営と効率的な議事の進行を図るため、本議会や委員会の具体的な運営方法等にかかる決定を行います。

【委員長】 白石 巖 【副委員長】 西村 直樹
 【委員】 渡辺 裕文 西澤 正

- **阿蘇広域行政事務組合議員** 阿蘇郡市7市町村で構成する阿蘇広域行政事務組合の議会議員に、産山村の代表として活動します。

西村 直樹 ・ 井 芳美

令和元年第2回（5月）臨時議会で審議された議案とその採決

同意 第3号	産山村監査委員の選任（議会選出監査委員：城本俊成議員）	全議員が賛成可決
承認 第2号	専決処分の承認を求める件（産山村税条例の一部を改正する条例）	全議員が賛成可決
承認 第3号	専決処分の承認を求める件 （産山村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	全議員が賛成可決
承認 第4号	専決処分の承認を求める件 （産山村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）	全議員が賛成可決

承認第2号 国の条例改正に伴い新規取得した軽自動車のグリーン化特例適用車両軽減延長と、環境性能割についての非課税臨時的軽減の規定を新設するものです。

承認第3号 国民健康保険税の医療費基礎課税限度額が58万円から61万円に引き上げとなりました。

承認第4号 産山村一般職の職員の給与に関し、級別職務分類表の一部改正がありました。

平成31年度 第1回（3月）臨時議会で審議された議案とその採決

3月定例会が3月8日に開会し、20日に閉会しました。平成31年度一般会計予算・特別会計予算及び平成30年度補正予算など議案21、報告1件、承認1件、同意2件を審議しました。

議案第2号	平成30年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出補正予算(第4号)について 補正額△193千円	全議員が賛成可決
議案第3号	平成30年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について 補正額△1,028千円	全議員が賛成可決
議案第4号	平成30年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について 補正額△2,751千円	全議員が賛成可決
議案第5号	平成30年度産山村診療所特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について 補正額△3,200千円	全議員が賛成可決
議案第6号	平成30年度産山村介護保険特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について 補正額△17,707千円	全議員が賛成可決
議案第9号	平成31年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出予算について 当初予算額225,100千円	全議員が賛成可決
議案第10号	平成31年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について 当初予算額23,000千円	全議員が賛成可決
議案第11号	平成31年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について 当初予算額44,000千円	全議員が賛成可決
議案第12号	平成31年度産山村診療所特別会計歳入歳出予算について 当初予算額62,700千円	全議員が賛成可決
議案第13号	平成31年度産山村介護保険特別会計歳入歳出予算について 当初額266,100千円	全議員が賛成可決
議案第14号	平成31年度産山村風力発電事業特別会計歳入歳出予算について 当初予算額15,000千円	全議員が賛成可決
議案第15号	産山村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全議員が賛成可決
議案第16号	産山村定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全議員が賛成可決
議案第17号	産山村花の温泉館事業特別会計設置条例を廃止する条例について	全議員が賛成可決
議案第18号	産山村営土地改良事業施行について	全議員が賛成可決
議案第19号	工事請負契約の締結について	全議員が賛成可決
議案第20号	平成30年度産山村一般会計歳入歳出補正予算(第7号)について 補正額26,862千円	全議員が賛成可決
議案第21号	平成30年度産山村花の温泉館事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について 補正額△3,887千円	全議員が賛成可決
議案第22号	平成31年度産山村一般会計歳入歳出予算について 当初予算額1,876,000千円	全議員が賛成可決
議案第23号	平成30年度産山村一般会計歳入歳出補正予算(第8号)について 繰越明許費の追加	全議員が賛成可決
議案第24号	産山村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全議員が賛成可決
報告第1号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告(平成30年度第3四半期)について	全議員が賛成可決
承認第1号	産山村過疎地域自立促進計画の一部変更の承認について	全議員が賛成可決
同意第1号	産山村固定資産評価審査委員会委員の選任同意を求める件について	全議員が賛成可決
同意第2号	産山村教育委員会教育長の任命同意を求める件について	全議員が賛成可決

*平成31年度予算の詳細につきましては、5月に配布しました当初予算説明書をご覧ください。



西村 直樹 議員

● 児童虐待について

《西村 直樹 議員》

今年の2月、千葉県で小学生が父親の暴力により亡くなった。

その事件で、教育委員会が児童生徒に行ったアンケートを両親に提供したという事があった。村では、児童生徒、園児にアンケートを行っているか、お尋ねする。

《市原 正文 村長》

本村においてもいつ起こるかわからない、危機意識を持っている。現在の状況については、担当課から説明させる。

《工藤 教育長》

学園では定期的に心のアンケート調査を行い、その実態を把握しているところである。

情報等の取り扱いについては、子どもの命を守ることを最優先にし、毅然とした対応をとっている。

る。

保育園児については、児童虐待防止法と児童福祉法の2つの法律があり、児童虐待の早期発見のため努力義務が課され虐待事案が疑われる場合、福祉事務所または児童相談所等へ通告する義務がある。

そのため、保育士は、子どもたちの様子や言動をいち早く察知する立場にある。

もし虐待を疑われるようなことがあれば、すぐ教育委員会に報告するよう指示している。

《健康福祉課長》

児童虐待対策として緊急地域ケア会議を設置し、個別事案等を住民や関係者から情報をいただき随時対応できるように体制を構築している。

基本的に関係機関が当該児童に対し情報等を共有することを前提とし、事案発生時には、48時間以内に関係者を緊急集合させ、早急な対応を行うこととなっている。



● 花の温泉館について

《西村 直樹 議員》

花の温泉館について、具体的な案というものが基本的に出てないが、先日、村長が花の温泉館について、リセット的な話をされたが今後、現在ある既存の施設を改築し活用することは出来ないものか。

《市原 正文 村長》

花の温泉館の今後について検討したが、理解をいただける提案ができなかった。

既存施設の利用だが、施設は、20数年が経過し、今の状態では、地域にとっても、村にとっても、イメージ的に悪いため、十分内容を検討する。



渡辺 裕文 議員

● 総合振興計画・未来計画について

《渡辺 裕文 議員》

村は平成27年から5年間の「むら・ひと・しごと創生総合戦略」を策定している。今年度策定の総合振興計画・未来計画は、この2つの計画を検証するべきであり、計画策定については、住民が参画し共有することが大事である。手法としてどのようなことを考えているか尋ねる。

《市原 正文 村長》

住みたい村・暮らしたい村を目指し、ワークショップ等で男女を問わず多くの方々の意見を聞かせていただき、ニーズを把握し常に村づくりに参加していただく仕組みづくりが大事であると思っている。

《渡辺 裕文 議員》

少子高齢化、人口減少

は待ったなしである。教育・子育て環境について、積極的にアピールし、移住に誘ったらいかがか？

《市原 正文 村長》

教育や子育て支援、農業・観光を含めた産業の振興を移住定住に進めていけるよういろいろなテーマで議論して総合振興計画に反映させるような形でやっていきたい。

《渡辺 裕文 議員》

むらづくり支援交付金は、環境保全、地域おこし、植栽・美化活動、里山保全、リサイクル活動、イベント活動、定住促進等に活用できる。村民に周知が徹底してないのではないかと？

《企画振興課長》

平成28・29年度は実績があったが30年度はなかった。

当初予算の説明書にむらづくり支援交付金の内容を記載して各家庭に配布する。

村民の方々に利用できるように周知も行う。



志賀 英昭 議員

●花の温泉館事業
について

《志賀 英昭 議員》

昨年12月の定例会での質問に対し、花の温泉館

はきっちり建設していくという村長の意思を示していた。ただ課題を克服しながらとの答弁であった。課題が何か、克服していくためにどのような手法が必要か、考えを尋ねる。

《市原 正文 村長》

花の温泉館については、平成30年1月に閉館したところだが、閉館する前は約2万人の方が利用され約1千数百万円の赤字という状況だった。計画を見直しながら継続するか、新たに建設し事業を進めていくのかという議会との議論の中で、施設を新設して温泉館事業を行うという程度の方

だ。これから先、10年先、施設を維持できるかということを十分検討する時間が必要と判断して今回提案を見送った。今後地域住民の方、村民の方々と議論をし、赤字を出してもやるのか、民間を含めて経営を譲渡、貸付けるなり、いろいろな方法を検討していきたい。

《志賀 英昭 議員》

議会では、一昨年9月決定したコンパクトな温泉館を新設するといった内容に基づき昨年2月にも馬路温泉を視察している。地元に対しどのようなことを提示していくつもりなのか再度お聞きする。

《市原 正文 村長》

議会でも事業費について一定の金額が提示された。その範囲内の中での新たな建物をどうするか簡単にいかない実態がある。担当課、村を挙げて、住民と相談しながら来年度で結論を早く出したい。

《志賀 英昭 議員》

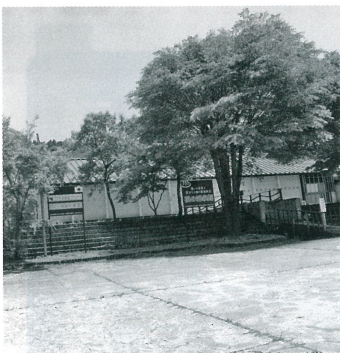
建設コストについて、なるべく抑えるよう議会

から金額を提示された経緯もある。建設コスト、ランニングコストに工夫の跡を示してもらいたい。担当課に任せるとのことだが、村民の福利厚生

の面からは健康福祉課の問題もあり、担当の企画振興課だけでなく、各課が一緒になって検討すべき課題ではないか。きちっとしたプロジェクトを作ってもらいたい。

《市原 正文 村長》

観光も含めて全体の課題にあったものが一番適当でないかと考えており、企画振興課に任せたい。事業費については、震災以降、1.5倍から2倍かかるという現実もある。現在ある建物も何に利用するか検討していかねばならない。



●小さな拠点事業
について

《志賀 英昭 議員》

コミュニティプラザ検討委員会の答申が3月に出された。小さな拠点構想の一つとしてコミュニティプラザ事業がどのように進んでいるか村民に伝えられることをお尋ねする。

《市原 正文 村長》

平成30年3月にJ Aが産山支所の金融・共済部門を廃止した。利便性が低下し、中心部が衰退していくという大きな課題に直面しているところだ。J Aと協議する中で、現在使用されているJ A施設について建物・土地つきで無償譲渡するということが理事会で決定された。

小さな拠点整備については、村民が買い物や診療所、郵便局、役場などの用事が一度に済ませることができないか、村民の生きがいづくりといった交流の場を整備したいということ、多くの住

民が計画に参加できるようにスピード感をもって今後各地区のニーズに丁寧

《志賀 英昭 議員》

に答えられるよう拠点整備を行いたい。小さな拠点構想は、J A跡地をどうするかという前提でスタートしたのではなく、各地区の子育てコミュニティ、お年寄りの生きがい作りという構想のもとにある。中心部に造るのは、正にハブ施設であって、地域ごと



● 第6次総合振興計画と産山未来計画について

《志賀英昭 議員》

村長公約である産山未来計画は途中から地方創生計画に変わったが、これはむら・ひと・しごとという人口ビジョンに基づいている。2月末の産山村の人口は1,516名で、まだ減っていく可能性がある。地方創生計画で出されたものが、きちっと運用され、産山未来計画と共にという形で成果が出ているのか。この計画には、成果指数という目標値が設定されている。クリアできているのかお聞きする。

《市原正文 村長》

創生事業については来年度が最終年度となる。マニフェストである未来計画と第6次総合振興計画を併せて検討し、村の将来について村民と真摯に協議して今後10年に渡る村づくりに取り組んでいきたい。実効性のあるものとなるよう、住

民が参加し作り上げるものにしたい。

《企画振興課長》

地方創生事業には、外部有識者による検証委員会を設置し、成果指標の達成具合を検証し、意見をいただいている。すでに達成していることもあるが、平成31年度に達成できるように各課とも鋭意取り組んでいる。

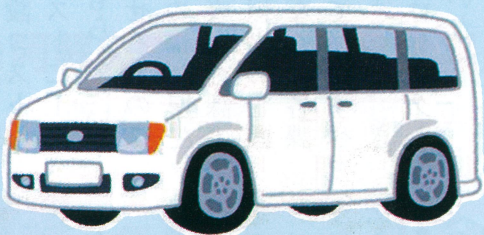
《志賀英昭 議員》

この計画は、チェック検証がきちつとなされなければ、次の総合振興計画にも結びついていけない。平成31年度が終了した段階で、検証結果を出していただきたい。村長が公約の産山未来会議とは未来を託す若者たちとの会話を重視して計画を立てていきたいということだったと思う。住民がどの事業に参加しても、住民自らがその主体だということ感覚を持っていただくことが大事だと思う。

議会事務局用
公用車を行政
(総務課)に
所管替

平成29年度に購入しました議会事務局用公用車は、維持管理利面及び利用効率を考慮した結果、行政(総務課)に所管替えして、有効に活用させていたただくことといたしました。

議会としては、財政の乏しい村の状況を鑑み、これからも、節約に努めてまいります。



編集後記

四月に行われました村議選により、半数の議員が入れ替わり新たにスタートしました。

今回産山村議会としては初めて女性議員が誕生しましたので、女性の視点からの意見が村政を元気にしてもらえることを期待しているところです。

また、広報委員も女性議員を含め新人と元議員で構成していますので、やる気満々です。簡潔明瞭に解りやすく読んでもらえるような紙面づくりに心がけますのでよろしくお願ひいたします。

広報特別委員

- 委員長 岩下 德行
- 副委員長 井 春夫
- 委員 井 芳美
- 委員 城本 俊成



発行責任者 議長 西澤 正

編集 広報特別委員会

発行 産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488-3
TEL 0967-2512635